

岡本太郎生誕百年記念展



© Eikoh Hosoe

UTSURUBUNE

Where Do We Come From?
Where Are We Going?
[Paul Gauguin, Noa Noa]

虚舟

未来の魂に捧げる
鬼才たちの星座

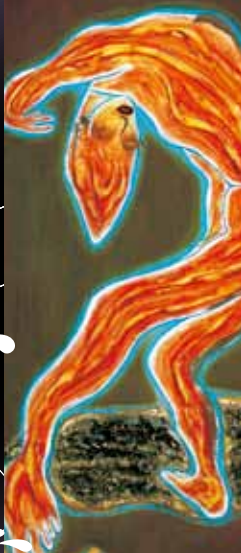
(絵画)

(写真)

招魂の作家 篠崎 崇・細江英公によって蘇る
大野一雄・岡本太郎・三島由紀夫・土方巽・澁澤龍彦

© NASA

© Takashi Shinozaki



現代作家9人衆と
宇宙・脳・細胞の視覚表現
芸術と科学の婚姻

栗野ユミト

岩崎秀雄

植田信隆

杉本博司

多田正美

銅金裕司

戸田裕介

能勢伊勢雄

藤本由紀夫

● 画像提供

国立天文台

東京大学

数物連携宇宙研究機構

理化学研究所

私たちが来るのは
何処から行くのか
何処へ行くのか

*ポール・クレーン

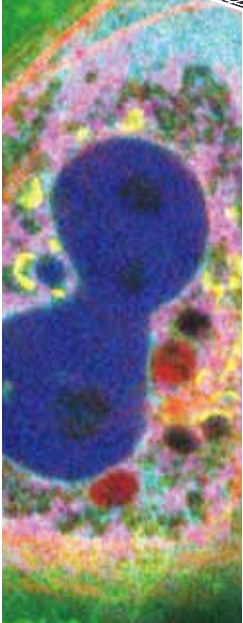
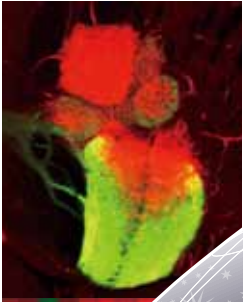
2011.10.15 SATURDAY → 2012.1.9 MONDAY

● 総合監修
村田慶之輔 (川崎市岡本太郎美術館館長)

● 総合プロデュース/アートディレクション
馬淵晃 (デザイナー/アートディレクター)

● デストキュレーター
新見隆 (武蔵野美術大学芸術文化学科教授)

● 協力/国立天文台(予定)、東京大学数物連携宇宙研究機構、
武蔵野美術大学芸術文化学科、理化学研究所



© RIKEN

● 主催/川崎市岡本太郎美術館、芸術と科学の婚姻展実行委員会 ● 助成/芸術文化振興基金

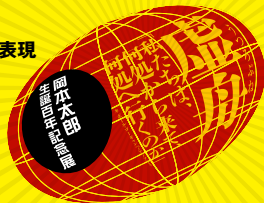


川崎市岡本太郎美術館

Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

現代作家9人衆と宇宙・脳・細胞の視覚表現

芸術と科学の婚姻



未来の魂に捧げる鬼才たちの星座

招魂の作家篠崎 崇 (絵画)・細江英公 (写真) によって 蘇る大野一雄・岡本太郎・三島由紀夫・土方 巽・澁澤龍彦

展観口上。

さあさあ、お立ち会い、現代の芸術愛好家、未来の社会革命家の諸姉諸兄の皆さん。大海虚空に、「虚舟」UTSUROBUNEあり。太古より、我らが宿命の天界人界は、生身をふくめて、虚実はさまを行き来する幻の旅の器也。

灼熱の日輪の落ちる海か、はたまた、三島畢生四部作、「真夏の光の庭」なる『豊饒の海』なりや。浮かぶは招魂の作家、篠崎崇の絵画群、細江英公写真群。

鬼才星座に鎮座しますは、前衛六十年代の巨星＝聖たち、すなわち岡本太郎、三島由紀夫、土方 巽、澁澤龍彦、そして、逝きし仙人大野一雄也。対峙するは、現代美術家九勇士。いずれも科学物理自然を霊源と心得る、霊験の猛者揃い。

而して、さらにさらに未来永劫を求めて、宇宙の魂の本性から生まれいずるは、驚くべき、世界宇宙細胞脳髓の奇跡的な超映像超現象の作品か、または視覚表現群か。

斯くして皆々さま、永劫宇宙と一体とならん人類の夢、ここにかつて未生未見の展観と相成りたれば、とくお立ち会い、乞うご期待のほど、お願いたてまつる次第。げに私どもは、「何処から来たりて、何処へと去るや?」

招魂の作家.....篠崎 崇.....細江英公



〈三島由紀夫の魂に捧げる〉 2003年



〈異種間の交合—岡本太郎〉 2005年 岡本太郎美術館にて

現代作家9人衆

1 粟野ユミト

花硬く、あわやかなる陰、
空気の結晶への呼気。

2 岩崎秀雄

希有なる場は光、
緑さすのは、水と空。

3 植田信隆

気を吹き込む筆、
ストローク=エーテル体描く幻視者。

4 杉本博司

虚の場へと放つ光、
自ら生まれる、科学の子らよ。

5 多田正美

音の場へ、不可視の像へ身投げする
ミスター・アンガージュマン。

6 銅金裕司

不在の身体、呼吸の夢と、
虚空を耕す庭師。

7 戸田裕介

渡海の舟へと行こう、異域同舟、
血の悲しみ木霊して。

8 能勢伊勢雄

「霊界」の雛形を整え、
「現界」を組み替える日日も人。

9 藤本由紀夫

空気をかたどる歴史、
音と人のデュシャン魔術師。

1 (eternal flowers)
2008年 個人蔵



4 (放電場 133) 2009年
© Hiroshi Sugimoto/Courtesy of Gallery Koyanagi



7 (A cloud)
2010年 作家蔵



2 (Midori-ningen プロジェクト)
2009年— 作家蔵



5 (100906.184253)
2011年 個人蔵



8 (御魂石)
1970年— 作家蔵



7 (表象と結合術 Op.7
Little Boy, Little Girl)
2010年—2011年 作家蔵



6 (kokedora)
1997年 作家蔵



9 (TARUPHON)
1987年 個人蔵
© TAKASHIMA Kiyotoshi



交通

■小田急線向ヶ丘遊園駅南口より

- ・徒歩17分
- ・バス3分(5番のりば・溝口駅南口行・溝19系統)「生田緑地入口」下車
徒歩8分(1時間1〜2本)
- ・タクシー4分(日本民家園前下車)徒歩5分

■溝口駅南口より

- バス22分(2番のりば・向ヶ丘遊園駅東口行・溝9系統)「生田緑地入口」
下車徒歩8分(1時間1〜2本)

■車利用の場合

- 東名高速川崎ICより10分、または府中街道「稲生橋」折2分
(生田緑地東口駐車場をご利用ください)



画像提供

- 国立天文台 ●東京大学数物連携宇宙研究機構 ●理化学研究所

川崎市岡本太郎美術館

〒214-0032 川崎市多摩区枳形7-1-5 TEL.044-900-9898

<http://www.taromuseum.jp>